

CASBEE-広島 2014年版		■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版				
学校法人 進徳学園 特別校舎棟建替工事		■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
		欄に数値またはコメントを記入				
スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40		-	2.6
1 音環境		3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 騒音	日本建築学会による遮音性能基準による計算より	4.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.5	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
2 界壁遮音性能	遮音等級＝遮音性能より	4.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	スラブ厚＝150mm、スラブ面積＝16.3㎡	4.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		1.8	0.35	-	-	1.8
2.1 室温制御		2.6	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.60	3.0	-	
2 外皮性能		2.0	0.40	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 昼光利用		3.6	0.30	-	-	
1 昼光率	昼光率の計算結果より	4.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		2.8	0.25	-	-	2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		2.3	0.30	-	-	
1 換気量		1.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	建物内は全面禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.6	0.30	-	-	2.6
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		1.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.0	0.20			
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
	3	電気設備		2.0	0.20			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
	5	通信・情報設備		1.0	0.20			
	6			1.0	0.20			
3 対応性・更新性				3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高＝4.000m	5.0	0.60	3.0	-		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率＝0.145	4.0	0.40	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり			2900N／㎡としている	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性				2.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			モデル建物法による計算結果より	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.86 住宅(専有部) —	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		モデル建物法による計算結果より	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水		擬音装置を設置しているため	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		RC打放しの上、複層塗材仕上。OAフロア、可動間仕切壁を使用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00	-	-	
3	冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮			CO2計算より、CO2排出量が参照値の50%以下であるため	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
2	振動			-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制			3.0	0.20	-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		夜間利用がないため	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	